

資料 3

アプローチカリキュラム例

テーマ 『友達と思いや考えを出し合いながら一緒に遊びを楽しもう』

活動(遊び) お店屋さんごっこに必要なものを作り、お店屋さんごっこを楽しもう

ねらい ○ 友達と互いに思いや考えを出し合い一緒に遊びを進めていくことを楽しむ

○ 友達と工夫しながら作ったり売り方や遊び方を考えたりする

内容 ○ 自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりしてやりとりを楽しむ

保育者の願い・互いの思いを伝え合い、考えを出し合って遊びを進めてほしい。

5領域のねらい

- 健康** ・自分の力を発揮し、満足感や達成感を味わう
- 人間関係** ・同じ目的をもち、友達と一緒に遊びを進めていく
- 環境** ・遊びを通して、文字や数量、図形、言葉などに
関心をもつ
- 言葉** ・役になりきって言葉のやりとりを楽しむ
- 表現** ・遊びに必要なものを考え、工夫したり作ったりして
遊ぶことを楽しむ

4つの視点

- 自立** ・遊びに期待と見通しをもって取り組もうとする
- 意欲** ・遊びの中で文字や図形・数量への興味関心をもつ
- 言葉・表現** ・友達の考えを知り、取り入れようとする
・互いの思いを伝え合い、折り合いを付けて遊びを進め
ようとする
- かかわり** ・役になりきって言葉のやりとりを楽しむ

これまでの遊びとつながり

砂遊び、自然物や身近な 素材を使って作って遊ぶ

いろいろな材料や素材に触
れて遊び、試したり工夫したり
しながら製作を楽しむ

ごっこ、表現遊び、 リズム遊び

友達とイメージを共有しな
がら、役になりきって様々
なごっこ遊びを楽しむ

- ・作ったものを遊びに取り入れ遊ぶ
- ・作ったもの、見立てたもので友達とやりとりを楽しむ
- ・見てもらう喜びを感じたり、友達を見て楽しんだりする
- ・友達とやりとりしているうちにもっとたくさんのものや
必要なものを感じ作り足す など

活動(遊び)の幼児の姿

- ・様々な素材や用具を利用し、イメージしたものを
実現しようとする
- ・友達と思いや考えを出し、役割を決めて遊びを
進める
- ・遊びに必要な言葉のやりとりを楽しむ
- ・異年齢の友達を誘い、関わりを楽しむ

環境設定のポイント

- 経験してきた遊びを活かす
- 活動の見通しをもって遊べる掲示物の工夫
- イメージが実現できるような素材の提示
- 必要と感じた時に作れる材料の準備
- 明日へ遊びがつながる片付けの場の設定

保育者の援助のポイント

- クラス全体で活動を進めている意識がもて
る話し合いや振り返り
- 自分達で考えたり工夫したりしている姿の
認め
- アイデアやイメージを実現する楽しさを感じ
られる共感
- 異年齢の友達との仲立ち



事例 「お店屋さんごっこをしよう」

ねらい	○友達と互いに思いを出し合い、一緒に遊びを進めていくことを楽しむ	接続期のポイント
内容	○同じお店屋さんをする友達と一緒に工夫しながら作ったり、売り方や遊び方を考えたりする ○自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりしてやりとりを楽しむ	・身近な事象に関心をもち、遊びに取り入れる。 (自然とのかかわり)
幼児の活動	○お店屋さんごっこに必要なもので今日作るものについて話し合う。 ○話し合いの中で出てきたものを身近な素材や自然物を使って見立てて製作する。 ○自分たちのお店屋さんの進み具合を友達にも知らせ、共有する。 ○売ったり、買ったりするのに必要な言葉を使い友達とやりとりをする。	・生活や遊びの中で文字や図形・数量への興味関心をもち。 (数量・図形・文字への関心)
◇環境・※援助	◇幼児と決めたお店屋さんごっこをする日までを提示し、見通しをもって遊んだり、生活できるようにしたりすることで、遊びに対して期待と見通しをもって取り組めるようにする。 ※遊びへの期待や目標がもてるように話し合いをする。また、自分たちで店の準備ができるように促すとともに保育者も一緒に考えながら場を準備していく。 ◇遊びに必要なものが作れるように様々な素材を準備しておく。また、幼児のイメージが実現できるように必要に応じて新たな素材を提示できるようにしておく。 ※幼児同士で必要なものを考えて作ったり、品物の置き方などを考えたりして工夫している姿を十分認めていき、アイデアやイメージを実現する楽しさを感じられるようにする。 ◇遊びの中でチケットやお金が必要と感じた時に作れるよう準備しておく。また、ごっこ遊びを通して文字や数字に興味をもち遊びに取り入れようとする姿を大切にする。 ◇できた商品を並べられる売り場を幼児と考えながら準備し、進み具合やできた物の数などが分かるようにするとともに、売る時の並べ方も考えられるようにしていく。 ※作った商品や衣装を使って売り場でお客さん役やお店屋さん役になってやりとりをする楽しさに共感しながら、他に何が必要かを考え、活動を進めていけるようにする。 ※グループごとの進み具合や活動内容をみんなに知らせたり相談したりする機会を作ること、クラス全体で活動を進めている意識がもてるようにする。 ※お店のように製作物を飾ったり、並べたりする場を作り、明日への遊びの期待をもちながら、お店を閉店し、片付けができるように幼児と一緒に場を整えていく。	・ごっこ遊びを通して必要な言葉のやりとりをする。 (言葉による伝え合い)
		・遊びや生活に見通しをもつ。 (自立心)
		・友達の思いや自分と違う考えを受け入れようとする。 (道徳性の芽生え)
		・自分の役割が分かり、友達と協力して遊びを進める。 (協同性)
		・互いの思いを伝え合い遊びを進めようとする。 (言葉による伝え合い)
		・遊びの中で図形・数量の感覚を育む。 (数量・図形・文字への関心)(思考力の芽生え)
		・身近な人と関わり、思いを共有する。 (言葉による伝え合い)
		・自分の役割がわかり、友達と協力して遊びを進める。 (協同性)
		・自分でできることは自分でしようとする。 (自立心)(規範意識の芽生え)
準備物	・机・看板・テーブルクロス・製作物 ・素材(画用紙、ペン、紙粘土、自然物、絵の具、花紙、毛糸、箱、ビーズ、ボンド、筒、テープなど) ・エプロン、三角巾	



テーマ 『自分なりの目標をもって挑戦しよう』

活動(遊び) なわとびを楽しもう

- ねらい ○ なわとびに親しみ、自分なりの目標をもって楽しむ
○ 友達と協力したり工夫したりして、共通の目標に向かって取り組む楽しさを味わう
- 内容 ○ 友達と一緒になわとびを楽しむ

保育者の願い ・遊びを楽しみながら跳躍力や持久力を育んでほしい。
・目標に向かって諦めずに取り組み、やり遂げる喜びや充実感を味わってほしい。

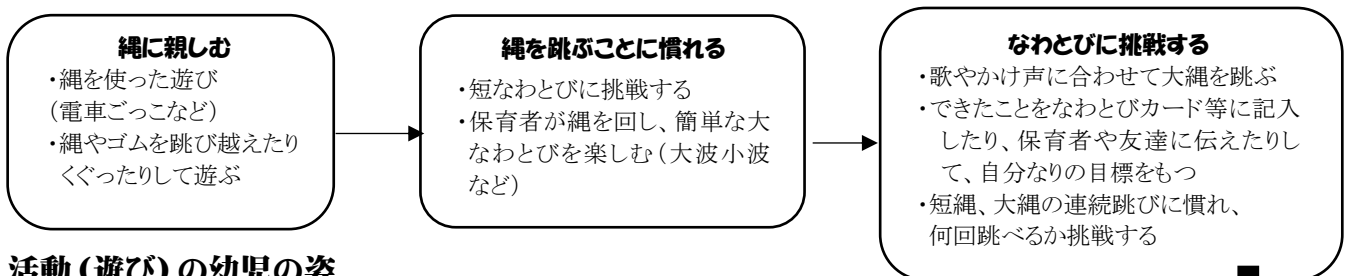
5領域のねらい

- 健康** ・体を十分に動かして遊ぶ
・健康、安全に関わる習慣に関心をもつ
- 人間関係** ・互いのよさや頑張りを認め合い、協力して遊ぶ楽しさを味わう
- 環境** ・数や文字に関心をもつ
- 言葉** ・考えたことを自分なりに表現する楽しさを味わう
- 表現** ・様々な跳び方を工夫し、紹介し合う

4つの視点

- 自立** ・目標に向かって進んで体を動かして遊ぶ
・元気に遊ぶための生活習慣に関心をもつ
- 意欲** ・苦手なことにも挑戦しようとする
・回数を数えたり、なわとびカード等に記入したりする中で、数や文字への興味関心をもつ
- 言葉・表現** ・友達と考えを伝え合いながら遊びを進めようとする
- かかわり** ・一緒に跳んだり励まし合ったりする中で、共に遊びを楽しむ喜びや心地よさを感じる

これまでの遊びとのつながり



活動(遊び)の幼児の姿

- ・自分たちで遊びに必要なものを用意したり、安全に遊べる場所を考えたりする
- ・何回跳べるか、自分の目標をもって挑戦する
- ・できたことを、なわとびカード等に記入する
- ・保育者や友達と一緒に大なわとびを楽しむ
- ・跳んだ回数を知らせたり、お互いを認め合ったりする



環境設定のポイント

- 幼児自身で用意や片付けができるような工夫
- スモールステップを取り入れ、自信や達成感をもてるような、なわとびカード等の用意
- 複数のグループが遊べるような場所の確保

保育者の援助のポイント

- 根気強く取り組めるような認めと励まし
- 友達と関わり合う姿の見守り
- 精一杯頑張ったり、友達と力を合わせたりの充実感や達成感への共感

事例 「大なわとびをしよう」



ねらい	○目標に向かって取り組む楽しさを味わう
内容	○大なわとびをする ○頑張ったことを認め合ったり、なわとびカード等に記入したりする
幼児の活動	○園庭に出て大なわとびに必要なものを用意する。 ○それぞれの縄がぶつからないように、場所を考える。 ○大なわとびをする。 ○できたことを喜び、保育者や友達に知らせる。 ○友達の姿にも関心をもつ。 ○お互いに見せ合い、認め合ったり励まし合ったりする。 ○使ったものを片付ける。 ○保育室に戻り、なわとびカード等に記入する。
◇環境・※援助	◇自分たちで遊びに必要なものを準備したり片付けたりできるような収納の仕方を工夫する。 ※縄がぶつからないように間隔を空けたり、障害物となるものを避けたりと、安全面に留意し、必要に応じて知らせていく。 ※幼児同士で相談する姿を見守り、仲立ちしたり言葉を掛けたりする。 ※できたことや工夫したこと、頑張っている姿等を認め、意欲や自信につながるようにする。 ※幼児同士で教え合ったり助け合ったりできるよう、友達の姿も伝えていく。 ◇大なわとびを見せ合う機会を設け、よかったところ、頑張っていたところ等を伝え合い、お互いを認め合えるようにする。 ※なわとびカード等に記入しながら、自分自身のよかったところ、頑張ったところも振り返ることができるようにする。 ◇思ったことを話し合ったり、なわとびカード等に記入したりする中で、友達の表現の仕方や文字・数字への関心がもてるようにする。
準備物	・大縄(長さ、軽さが異なるものなど) ・なわとびポール ・ラインカー、線引き棒など ・なわとびカード等の記入に必要なもの(鉛筆、色鉛筆、シールなど)

接続期のポイント

・元気に遊ぶための生活習慣を意識する。
・安全に遊べるよう工夫しながら、伸び伸びと活動する。
(健康な心と体)

・「みんなで跳びたい」という気持ちから、協力したり工夫したりして遊ぼうとする。
(共同性)

・お互いを認め合い、言葉で表現する。
(言葉による伝え合い)

・遊びに必要なものを考えて準備したり、安全に遊べるように場所を考えたりする。
・長さや軽さが異なる大縄を試す中で、縄が回る速さや跳びやすさ等との関係に気づく。
(思考力の芽生え)

・お互いの姿を見たり、相談したりする中で、自分の姿を振り返ったり、友達の気持ちに気付いたりする。
(道徳性の芽生え)

・なわとびカード等の記入を通して、自分自身を認め、励ましたり、次の目標を見出したりする。
(自立心)

・自分なりの表現を楽しんだり、友達の表現の仕方に関心をもったりする。(豊かな感性と表現)

・自らの必要感や表現したい気持ちにより、文字や数字を理解したり、使おうとしたりする。
(数量や文字への関心・感覚)

テーマ 『チームで遊ぶ楽しさを味わおう』

活動(遊び) ドッジボールをしよう

ねらい ○ 友達とルールを考えたり守ったりしながら、ドッジボールを進める楽しさを味わう

内容 ○ 友達と相談しながら、ドッジボールをする

保育者の願い ・友達と思いを出し合ったり、ルールを考えたりしながら、自分達で遊びを進める楽しさを感じて欲しい。

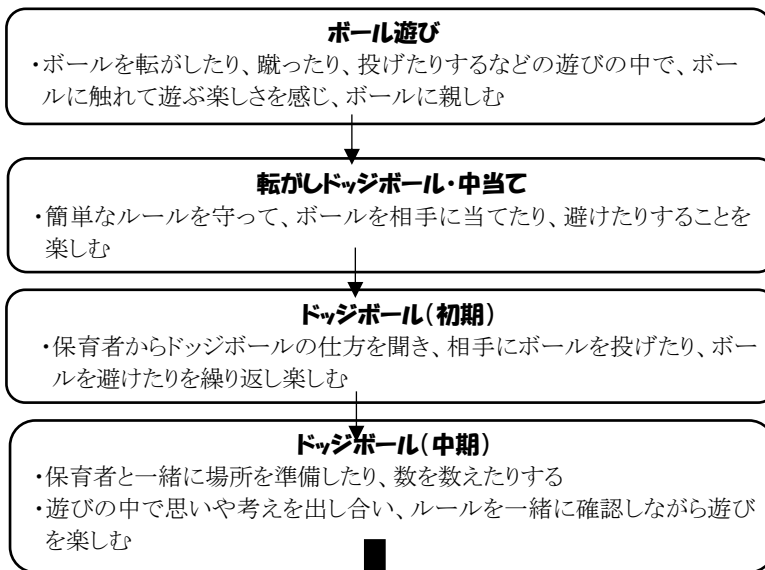
5領域のねらい

- 健康** ・ルールを考えたり、守って行動したりする
- 人間関係** ・友達と考えを出し合いながら、協力して遊ぶ楽しさを味わう
- 環境** ・遊びに必要な物が分かり、友達同士で場所を準備し遊びを進めようとする
- ・遊びの中で、数量や形に関心をもつ
- 言葉** ・考えを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする

4つの視点

- 自立** ・ボールを投げたり、避けたりしながら身体を動かして遊ぶ
- 意欲** ・チーム分けを考えたり、ボールを当てた人数を数えたりする
- 言葉・表現** ・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしながら遊びを進める
- かわり** ・遊ぶ中で必要なルールを考えたり、守ったりする

これまでの遊びとのつながり



活動(遊び)の幼児の姿

- ・友達とコートやボールなど遊びに必要な場や用具を工夫して準備する
- ・自分達で相談し、チームを考えて分かれる
- ・相手にボールを当てたり、ボールを避けたり掴んだりすることを喜ぶ
- ・ボールに当たったり、取れなかったりすることを悔しがったりする
- ・友達の姿を見て、自分なりに工夫して投げたり、避けたりして遊ぶ
- ・遊びの中で、思いがぶつかったり分からない事があったりした時は、友達と考えや思いを出し合い、自分達でルールを考え、解決しようとする
- ・数を数えて、勝敗を決める

環境設定のポイント

- ボールを使った遊びの繰り返しの経験
- ルールに多様性のある遊び
- 幼児同士が思いや考えを出し合い、認め合える雰囲気
- 周囲の遊びとの安全面を考慮
- 思いきり遊びが楽しめる場所や時間の確保

保育者の援助のポイント

- 興味関心に合わせた言葉を掛ける
- 友達と目的に向かって力を合わせながら、勝ったり負けたりする経験の積み重ね
- 満足感を感じたり次への意欲や仲間意識がもてたりする進行
- 幼児自身が考えたり気付いたりできる機会を大切にする



事例 「友達と相談しながらドッジボールを楽しもう」

接続期のポイント

ねらい	○友達とルールを考えたり守ったりしながら、ドッジボールを進める楽しさを味わう	
内容	○ドッジボールをする 「友達と相談しながら、ドッジボールを楽しもう」	
幼児の活動	○自分たちで遊びに必要な場や用具を準備する。 ○自分たちでチームを考え、チームに分かれる。 ○ドッジボールをする。 ○遊びの中で分からないことがあった時は、考えや思いを出し合いながら、自分たちでルールを考えて進めようとする。	・遊びに合った形や大きさ、人数であるか等に気付く。 (数量や図形への関心) ・活動に必要なものを考えたり、相談したりしながら、自分たちで遊びの場所を準備する。 (協同性・言葉による伝え合い)
◇環境・※援助	◇ドッジボールに必要なものを幼児が選び、幼児同士で準備できるようにしておく。 ◇幼児が十分に体を動かして遊べるように、障害物の無い広い場所を確保し、安全面に留意する。 ※幼児同士で自分の思いを伝え合いながら遊びを進めようとする姿を見守るとともに、思いがぶつかる時には、幼児の思いを受け止め、一緒に考えたり仲立ちしたりする。 ※幼児が自分なりに工夫しているところやうまく投げている姿を認めたり、他の幼児に知らせたりして、“自分もしてみよう”“遠くまで投げたい”と意欲がもてるようにする。 ◇遊びの様子に応じて時間の調節が行えるようにする。 ◇勝敗を決める際には、数の多い少ないなど数の差に気付いたり、興味をもったりできるよう分かりやすく幼児と一緒に数える。 ※遊びの中で喜んだり悔しがったりと、思いを共有しながら幼児が友達と力を合わせて遊ぶ楽しさを味わえるよう、保育者も遊びに参加するとともに、楽しかった思いに共感し、次への意欲につなげる。	・手足や腕を十分に動かし、自ら活動に参加しようとする。 (健康な心と体) ・幼児同士で思いを出し合いながら、ルールを考えたり、解決しようとする。 (道徳性・規範意識の芽生え) ・繰り返し遊ぶ中で、どうすれば思うように投げたり握めたりするのか、勝つためには・・・など、考えたり気付いたりする。 (思考力の芽生え) ・並べたり、表示を使ったり、数だけで比較したりしながら、数に興味をもつ。 (数量や図形への関心) ・友達と力を合わせたり、思いを共有したりしながら遊びを楽しむ。 (協同性) ・遊びの中で達成感や満足感を感じ、より意欲をもって取り組む。 (自立心)
準備物	・ラインカー・線書き棒 など ・様々な素材や形のボール ・タイマー又は時計 など	



テーマ 『お正月遊びを楽しもう』

活動(遊び) 凧揚げをしよう



- ねらい ○ 進んで体を動かして遊ぶ
○ お正月遊びに関心をもち、その楽しさを味わう
- 内容 ○ 自分の凧を作り、凧揚げを楽しむ

保育者の願い ・寒さに負けず体を動かして遊んでほしい。
・試したり工夫したりしながら、繰り返し遊ぶ中で楽しさを味わってほしい。

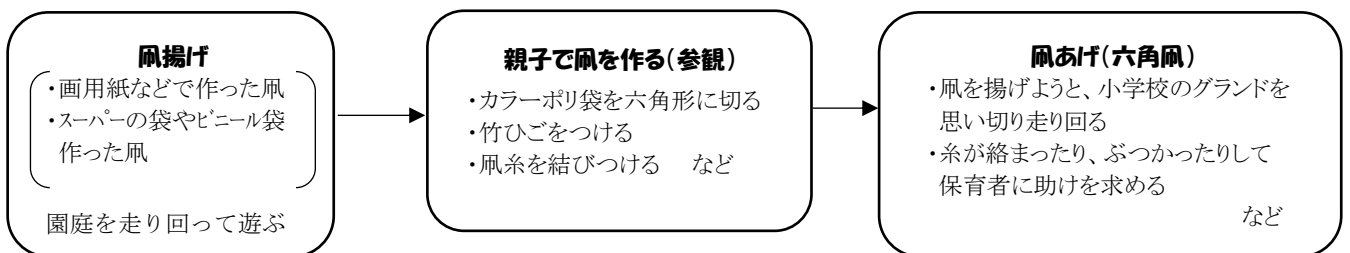
5領域のねらい

- 健康** ・寒さに負けず体を動かして遊ぶ
・繰り返し挑戦する
- 人間関係** ・同じ目標をもって友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう
- 環境** ・風の強さや向きなどを感じる
- 言葉** ・思ったことや気付いたことを伝える
- 表現** ・遊びに使うものを工夫して作る

4つの視点

- 自立** ・寒さに負けず、戸外で十分に体を動かして遊ぶ
- 意欲** ・凧を揚げるという目標をもち繰り返し挑戦する
・試したり工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう
- 言葉・表現** ・自分の思いを伝えたり、関心をもって友達の話の聞いたりする
- かかわり** ・凧を揚げるという目標に向かって友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう

これまでの遊びとのつながり



活動(遊び)の幼児の姿

- ・自分で作った凧を持ち、広い場所で十分に体を動かして遊ぶ
- ・自分なりの目標をもち、繰り返し試したり工夫したりして遊ぶ
- ・凧が揚がった喜びや友達の方凧の様子から刺激を受け、さらに高く揚げたいと意欲をもって遊ぶ
- ・自分で修理をしたり、凧が絡まったら自分でほどこいたりしながら遊ぶ
- ・気付いたことや困ったことなど、自分の言葉で伝えようとする

環境設定のポイント

- 思いきり走れる広い場所
- 修理ができる場所
- いろいろな風の日に繰り返し遊ぶ

保育者の援助のポイント

- 凧を揚げる楽しさに気付くように促す
- 試し工夫につながる言葉を掛ける
- 根気強く取り組める励まし
- 自分でしようとする姿の見守り
- 達成感が味わえるような共感

事例 「凧揚げをしよう」



ねらい	○寒さに負けず、戸外で体を動かして遊ぶ ○試したり工夫したりして、凧揚げを楽しむ
内容	○小学校のグラウンドで凧揚げをする
幼児の活動	○小学校のグラウンドに行き、凧揚げをする。 ○高く揚がった凧を見合ったり、比べ合ったりする。 ○糸の長さや風の向きなどを考え、工夫する。 ○糸やビニールを必要に応じて自分で修理したり、保育者に困ったことを伝えたりする。 ○凧が絡まった時には、自分たちで解決しようとする。 ○凧が揚がった喜びや、工夫して分かったことなどを表現する。 ○保育室に戻る。 ○凧を片付ける。 ○遊びについて話し合う。
◇環境・※援助	◇小学校のグラウンドを使い、思いきり走り回り、伸び伸びと凧揚げを楽しめるようにする。 ◇小学校のグラウンドを使うことで、小学校の環境に親しむ機会となるようにする。 ※走る向きや間隔など安全面に留意し、必要に応じて知らせていく。 ◇修理が必要な時にはその場ですぐに自分で直せるよう用具を準備しておく。 ※一人一人の楽しむ様子を見ながら、凧を揚げる楽しさに気付いたり、考え工夫する楽しさが味わえたりできるような言葉を掛ける。 ※糸の長さや風の向きにも気付き、関心が高まるよう保育者も一緒に遊びながら伝えていく。 ※喜びや困ったことなど思いを伝えようとする姿を大切にし、丁寧に受け止めていく。 ※自分で作った凧を大切に最後まで丁寧に片付けができるよう見守る。 ◇今日の凧揚げで気付いたことや思ったことを話し合う場をもち、関心をもって伝えたり聞いたりできるよう援助する。
準備物	・自分で作った凧 ・テープ類 ・凧糸

接続期のポイント

・寒さに負けず、戸外で伸び伸び活動することで体も心も躍動し意欲を高める。
(健康な心と体)

・凧を揚げるという目標に向かって、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
(協同性)

・工夫する楽しさ、達成感を味わうことでいろいろなことにチャレンジする意欲や根気強くやりきる力を養う。
(自立心)

・友達の動きを意識して遊んだり、折り合いを付けたりしながら、安全に遊べるように考えたりする。
・自分の凧も友達の凧も大切にする。
(道徳性の芽生え)

・修理をする中で、形や長さ、強度、凧の仕組みなどに気付き、関心や感覚をもつ。
・風の向きや強さによって、凧が揚がる様子の違いに気付く。
(思考力の芽生え)

・自分の体や凧を通して風の強さや向きを感じるなど、直接体験の中での気付きを大切にする。
(自然とのかかわり)

・糸が絡まったり破れたりした時には、自分で修理をする、友達と一緒に解決しようとするなど、自分の力で何とかしようとする姿を大切にし、最後までやり遂げる達成感につなげていく。
(自立心)

・自分の知っていることや感じたこと、分かったことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたり、受け入れようとする力をつける。
・困った時には自分で伝えようとする。
(言葉による伝え合い)

テーマ 『みんなで話し合って遊びを進めよう』

活動(遊び) いろいろな鬼ごっこを楽しもう



- ねらい ○ いろいろな鬼ごっこに親しみ、体を動かして遊ぶ
○ 自分たちでルールを考え、工夫して遊びを進める楽しさを味わう
- 内容 ○ 自分たちで工夫しながら鬼ごっこを楽しむ

保育者の願い ・走る、登る、跳ぶなど様々に体を動かして遊んでほしい。
・友達と教え合ったり助け合ったりしながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わってほしい。

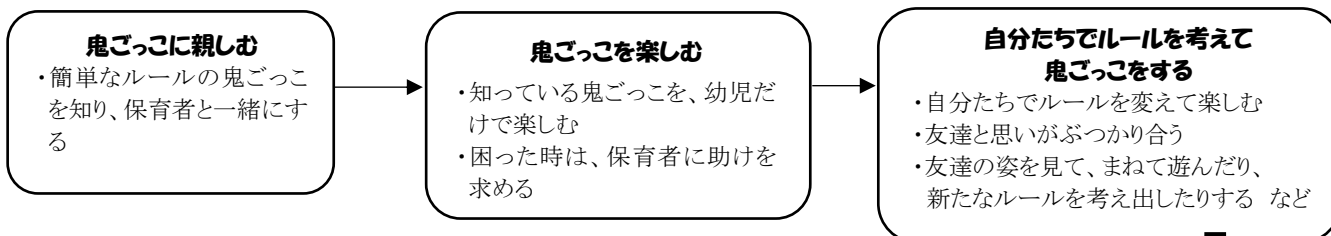
5領域のねらい

- 健康** ・寒さに負けず、進んで体を動かして遊ぶ
- 人間関係** ・互いの存在を認め合い、思いやりの気持ちを育む
- 環境** ・数量や時間に関心をもつ
- 言葉** ・考えたことを伝えたり、相手の話を聞いたりする
- 表現** ・イメージを豊かにして遊びを楽しむ

4つの視点

- 自立** ・適度な休息を取りながら十分に体を動かして遊ぶ
- 意欲** ・数量や時間を感覚的に捉え、興味関心をもつ
・諦めずに挑戦しようとする
- 言葉・表現** ・友達に分かるように伝えたり、相手の話に関心をもつて聞いたりする
- かかわり** ・ルールの大切さ、必要性が分かり、守ったり、工夫して作り直したりする

これまでの遊びとのつながり



活動(遊び)の幼児の姿

- ・ルールを考えながら遊んだり、友達の姿を見たりする中で、新しいアイデアを思い付く
- ・幼児が考えたことを紹介し、みんなでやってみる
- ・ルールを考え直しながら繰り返し遊ぶ
- ・勝った回数や人数を数えたり、時間を計ったりする
- ・友達と一緒に遊びたい気持ちから、自分の気持ちを調整し、折り合いを付けようとする

環境設定のポイント

- 幼児と共に安全に遊べる場所の確認
- 時間の見通しや時間の感覚がもてるような用具や道具の準備
- 数量の差が感覚的に捉えられるような工夫

保育者の援助のポイント

- 幼児の体力や集中力に留意した時間の調整
- 自分の気持ちを調整し、折り合いを付けていく姿の見守りや仲立ち
- 試行錯誤した過程の十分な認め
- 自分たちで遊びを進める喜びへの共感

事例 「自分たちで工夫しながら鬼ごっこをしよう」



ねらい	○自分たちでルールを考え、工夫して遊びを進める楽しさを味わう
内容	○「ケイドロ」のイメージを共有し、ルールを工夫しながら遊ぶ
幼児の活動	○「ケイドロ」を繰り返す中で出てきた新しいアイデア（宝物を隠しておき、逃げるチームが宝物を見つけて持っている間はつかまらない など）を紹介する。 ○遊びに必要なものを、身近なものを利用して用意する。 ○人数を数えて、追うチームと逃げるチームに分かれる。 ○つかまった人数や、手に入れた宝物を数えたり、比べたりする。 ○友達と思いがぶつかり合う。 ○考えたことを伝え合い、ルールを作っていく。 （例：どちらかのチームが勝ちやすくなったので、困ったことや感じたことを話し合いルールを考える など） ○ルールを足したり考え直したりしながら繰り返し遊ぶ。 ○遊びを振り返り、話し合う。
◇環境・※援助	◇幼児と共に園庭の小石を拾ったり、安全に遊ぶ場所の確認をしたりする。 ◇新しいアイデアを紹介する機会を設け、分かりやすく伝えたり、関心をもって聞いたりできるよう援助する。 ※みんなでルールを確認したり、実際にやってみたりする中で、友達同士で教え合ったり助け合ったりできるよう仲立ちする。 ◇宝物を何にするか、身近なものの中から考え、自分たちで準備をする。 ※宝物の隠し場所については、安全面に留意して、必要に応じて言葉を掛ける。 ◇つかまった人数や宝物の数など数量の差が感覚的に捉えられるよう、工夫する。（ボードにマグネットを貼る 等） ◇時計やタイマーの他、適当な時間の曲（CD）なども準備しておき、見通しや時間の感覚がもてるようにする。 ◇遊ぶ中で、うまくいかなかったところや変えた方がいいところなど、気付いたことを出し合う時間を設ける。 ※ルールを足したり考え直したりする場合、理由や必要性も理解したうえで再び遊べるようにする。 ※遊びを振り返る中で、試行錯誤した過程を認め、自分たちで遊びを進めることができた喜びに共感する。
準備物	・カラー帽子 ・ボールや玉入れの玉（宝物の代わり） ・ラインカー、線書き棒など ・タイマーや時計 ラジカセ、CD ・マグネットボード ・マグネット

接続期のポイント

・言葉や動作等により友達に分かるように伝えたり、相手の話に関心をもって聞いたりする。
（言葉による伝え合い）

・自分と違う考えを受け入れたり、新たな考えを生み出したりする。
（思考力の芽生え）

・戸外で十分に体を動かし、充実感を味わう。
（健康な心と体）

・イメージを共有し、役になりきって遊びを楽しむ。
（豊かな感性と表現）

・友達が遊ぶ様子を見たり、保育者と一緒に動いたりすることにより、自分なりに考え、主体的に遊びに参加しようとする。
（自立心）

・宝物の代わりになるものや隠す数を考えて用意したり、隠す場所を考えたりする。
（思考力の芽生え）

・具体物を使って数を表すことにより、数量の差に関心をもつ。
（数量への関心・感覚）

・友達と一緒に遊びたい気持ちから、自分の気持ちを調整し、折り合いを付けようとする。
（道徳性の芽生え）

・新しいルールを理解するとともに、その必要性にも気づき、守って遊ぼうとする。
（規範意識の芽生え）

・試行錯誤する経験を重ねながら遊びを進めていくことにより、自分達で考えて遊ぶ充実感や自信をもつ。
（自立心・共同性）

資料 4

スタートカリキュラム例

(d)スタートカリキュラム例

第4週 週予定表「 これからのぼく・わたし 」

ねらい ○学校にはどんな場所やどんなものがあるかに気づき、学校生活の様子がわかる ○安心して学校生活をスタートすることができる			
校時	16日目(月)	17日目(火)	18日目(水)
朝の活動 8:00～8:25	登校したら、朝の準備を自分でする		
朝学習 8:30～8:40	読み聞かせ・手遊び歌・ふれあいゲームなど		
朝の会 8:40～8:45	朝の話・健康観察		
1	音楽「うたでなかよしになろう」 ・音楽に合わせて遊んだり身体を動かしたりする	国語「ことばをつくろう」 ・あいうえおで始まる三語の言葉集め ・ひらがなの学習「い」	国語「ことばをつくろう」 ・あいうえおで始まる言葉の音読 ・ひらがなの学習「り」
2	音楽「うたでなかよしになろう」 ・1年生を迎える会に向けての学年練習	児童会「1年生を迎える会」	眼科検診
3	図工「こいのぼり」 ・はみ出さないようにクレパスで色を塗る	国語 ・1年生を迎える会の思い出を絵とことばでかく	体育「体力テストに向けて」 ・かけっこ ・50m走の測定
4	算数「かずとすうじ」 ・10までの数字を書く	算数「かずとすうじ」 ・ばらばらの果物の数を数える ・絵グラフを書き、数の多少を比べる	算数「かずとすうじ」 ・10までの数のものを並べたり大小比較したりする
	給食の準備	給食の準備	給食の準備
給食	給食	給食	給食
昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
掃除	掃除	掃除	掃除
5	生活「がっこうとともだち」 ・お世話になった2年生へ感謝のお手紙を書く	道徳「お世話になっている人」 ・学校探検で出会った先生や上級生への感謝の気持ちをもつ	図工「こいのぼり」 ・はみ出さないようにクレパスで色を塗る
	帰りの準備	帰りの準備	帰りの準備
帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会
下校			

週時数	今週	累計
国語	3	16・1/3
算数	3	11
生活	1	10
音楽	1	7・1/3
図画工作	3	6
体育	1	5
道徳	1	3・2/3
学級活動	0	7・2/3
児童会	1	2
学校行事	1	6
合計	15	75

第 週 週予定表「 」

ねらい					
校時	1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)
朝の活動 8:00～8:25					
朝学習 8:30～8:40					
朝の会 8:40～8:45					
1					
2					
3					
4					
給食					
昼休み					
掃除					
5					
帰りの会					

週時数	今週	累計
国語		
算数		
生活		
音楽		
図画工作		
体育		
道徳		
学級活動		
児童会		
学校行事		
合計		